

# 2025年度事業報告書

特定非営利活動法人DxP

## I 事業期間

2025年4月1日～2026年3月31日

## II 事業の成果

孤立する子ども・若者のセーフティネットや機会を作り続けて13年が経ちました。2025年度はユキサキチャットの登録者が2万人を超え、食糧支援は過去最多を記録しました。また大阪ミナミの繁華街で運営するユースセンターの利用者も5,000人近くにのぼるなど、多くの若者と関わり、必要に応じたサポートを行いました。

こうした事業の積み重ねのもと、昨年度に引き続き、見えづらいユース世代の状況を明らかにするために、ユキサキチャットの利用者を対象にアンケート調査などを実施し、日々の関わりの中で受け取った声を調査として整理・発信することにも取り組みました。

事業（1）では、大阪有数の繁華街であるミナミや道頓堀のグリコ看板の下（グリ下）周辺で夜を過ごす13～25歳の若者を対象に、安心・安全に過ごせるよう開設している居場所としてユースセンターの運営を継続しています。今年度のユースセンターの開所回数130回、のべ利用者数4,989名、食事提供数4,133食でした。食事や休息の場を提供するとともに、地域や行政、支援機関などさまざまな社会的資源への中継地になることを目指しています。また、若者にあたらしい「はたらく選択肢」をつくるため、「仕事体験プロジェクト」を開始しました。一般的な就労との間にあるギャップを埋める第一歩として、カフェの仕事を体験できる「夜カフェ仕事体験企画」を6回実施し、のべ11人が参加しました。

5月には前年度より準備していた佐賀県の東名館中学校・高等学校内での居場所事業を開始し、月1回程度開催しました。

事業（2）では、親や周囲を頼れない全国の13～25歳に寄り添い未来と一緒に考えるオンライン相談窓口「ユキサキチャット」を運営し、LINE公式アカウントを使って相談に応じています。累計登録者数は20,184名（昨年比3,500名増）となりました。

親からの支援を受けられないなどの事情で生活が苦しい若者に対し、食糧支援や現金給付を組み合わせたサポートを行い、今年度の食糧支援数は過去最多となる119,490食、現金給付額は1,552万円となりました。現金給付額は減少しましたが、これは今後自立して生活する方法と一緒に考えることを優先し、公的制度の利用を促すなどしたためです。引き続き、不登校から生活困窮へと続く「地続きの困難」に寄り添い、ひとりひとりに応じたサポートを行っていきます。

事業（3）では、主にユース世代をとりまく課題をテーマに講演を実施するとともに、困難な状況下にある若者のニーズを、アンケート調査等から収集・分析を行い、記者会見や行政につなげる調査・提言活動を実施しました。アンケートでは「若者の年末年始に関するアンケート」「食費や奨学金に関するアンケート」を実施し、いずれも記者会見で発表するとともに団体ホームページからも結果レポートを公開しています。

事業（4）では、佐賀県で活動するNPO法人等の皆様に向けて、各団体の組織基盤強化を目的としたイベントを企画しました。資金調達や組織づくりについて学びながら悩みを伝え合う内容となり、約25名の参加がありました。また、個別のヒアリングやセンターへの視察受け入れも行い、団体間の連携を進めました。

事業（5）は2025年度においては実施していません。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 居場所事業、キャリア教育支援事業及びそれに付随する生活支援や能力開発・体験事業

(内容)

- ① 繁華街（大阪・ミナミ）で「夜の街」が居場所となっている繁華街の若者にアウトリーチし、安心して過ごせる場所を提供しつつ、必要な社会資源と繋がれるようサポート。

- ② 佐賀県東名館中学校・高等学校内での居場所事業の実施

(実施場所)

- ① 大阪・ミナミ周辺、ユースセンター内
- ② 佐賀県東名館中学校・高等学校

(実施日時)

- ①週2回火曜日から水曜日と土曜日17-21時目安、その他の日時に同行支援も実施
- ②月1回程度、12:30-16:30

(事業の対象者)

- ①大阪ミナミの繁華街にSNSを介して集まる様々な背景を抱える13歳から25歳までの若者
- ② 東名館中学校・高等学校に在籍する生徒

(収益) 0円  
(費用) 118,296,890円

(2) (事業名) 相談事業及びそれに付随する生活支援事業や能力開発・体験事業

(内容) 進路や就職、現在の生活に関する若年層からの相談に応じ、次のアクションに向けてひとりひとりに併走する事業で、LINEなどSNSを使った相談事業「ユキサキチャット」の運営や、それにとまなう個別相談を行う。また、親に頼れない、緊急事態など何らかの事情で頼り先のない若年層に対し、将来的な自立に向けて直近の生活を支えるための食糧や生活用品、家賃等の給付を行う。民間企業と協働し、パソコン30台の無償提供も行った。

(実施場所) LINEなどインターネット上、当団体事務所

(実施日時) 原則平日10時～19時

(事業の対象者) 13歳から25歳までの若者

(収益) 0円  
(費用) 159,897,354円

(3) (事業名) 講演・普及啓発事業

(内容) 現代の高校生、若年層、若者が置かれた環境や課題を伝え、その環境を整えるための取り組みや啓発を行う事業。WEBやSNS、イベントの登壇、取材協力などを通して普及啓発を行うほか、D×Pが行うアンケート結果等を通じて、表れにくい若者のニーズを可視化し社会へ発信する提言活動を行う。

(実施場所) Youtubeやzoomなどオンライン上や各講演会場にて

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 一般市民等

(収益) 3,017,747円  
(費用) 25,316,243円

(4) (事業名) 中間支援事業

(内容) いち団体では「ひとりの若者」を支えることはできない/すべきでないの思いから、さまざまな団体が個別ケースで関わり、力を貸し合う状態をつくることを目指す事業。2025年度では佐賀県で活動するNPO法人等の皆様に向けて、各団体の組織基盤強化を目的としたイベントを企画し実施した。また他団体からの希望に応じて、ユースセンターの視察受け入れや各事業に関するヒアリング対応なども行う。

(実施場所) 佐賀県、大阪・ユースセンター内など

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 連携先団体

(収益) 11,000円  
(費用) 218,121円

(5) (事業名) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(内容) 災害発生時などの緊急事態対応等も含め、当法人の目的を達成するために必要と判断した取り組みを行う。

(実施場所) 今年度は実施なし

(実施日時) 今年度は実施なし

(事業の対象者) 被災者・若者など

(収益) 0円  
(費用) 0円

#### IV 社員総会の開催状況

通常社員総会

(日時) 2025年5月29日 午後3時から午後4時

(場所) インターネット会議システム「ZOOM」による開催  
(社員総数) 12名  
(出席者数) 9名(うち委任状出席者0名)  
(内容) 事業報告並びに活動決算承認、事業計画並びに活動予算の承認

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

##### 理事会1回目

(日時) 2025年5月26日 午後1時から午後2時  
(場所) インターネット会議システム「ZOOM」による開催  
(理事総数) 3名  
(出席者数) 理事3名、監事1名  
(内容) 通常社員総会開催の件

##### 理事会2回目

(日時) 2025年7月29日 午後1時から午後2時  
(場所) インターネット会議システム「ZOOM」による開催  
(理事総数) 3名  
(出席者数) 理事3名、監事1名  
(内容) 長期借入金の件